

Q 合併時の説明会で「一関と合併しないと台所事情は大変だ」と言われていたが、合併しなくても改善されているの
が不思議であったが？

A 先ほど話したように、町民の皆さんに我慢していただいた部分も大きい。また平成の大合併で自治体数が減ったことにより、国からの交付税が予想よりも減らされずに今日までできたこと。借金の利子もここ数年は低利のものに借り換えられたのも大きい理由である。

体育館建設について

Q 反対集会にも行って意見を聞いてみた。賛成や反対の意見を出していたが、議会制民主主義なので、町長、議員が議論して結論を出すべきである。その結果が4年に1度の選挙で問われるのであり、町民にその責任を押し付けるのは間違いである。課長や職員も普段から議論してほしい。

A 課長クラスは、毎週、庁議で議論している。本年度から、「夢・未来会議」として、町長と補佐、副町長と主任主査が議論する場を設定する。

Q 花立地区に体育館があった時は、藤原まつりに利用して

いた。祇園地区にできるとなると、藤原まつりには利用できる
きなくなるのではないかと？

A 体育館の場所の選定としては、候補地を中学校の付近と考えたが、内水による浸水の心配があった。

また花立地区では、世界遺産の金鶏山に隣接しているため、景観問題や建設時の高さなどの規制があり難しかった。それで、広い土地と中学生の利用を考えると、祇園地区となれば、藤原まつりで利用しづらくないと思うが、町でバスを出すなどの対応で解消したい。

Q 若い年齢の人しか使えないのではないかと？ 高齢者を見ていない。

A 体育館は、競技スポーツをする人のためと捉えられているようだが、それだけにとどまらず、引きこもっているようなお年寄りが集っていたりける場所にしたとも考えている。

Q 役場からみると、こういう会を1回開きさえすれば、住民の理解を得たということになるのか？

A 情報については公表しているが、直接に住民の意見を聞

いてみたいということで開催しているものである。

Q 東日本大震災の時、小学校に避難して思ったが、階段が多いと上り下りが大変で非常に苦労した。

避難所としては、体育館のように階段の多い施設は使えないのではないかと？

A あの時は、停電によりエレベーターが使えず、いろいろとご不便をおかけした。そのようなことを解消する目的で、今回の体育館はユニバーサルデザインとした。

Q 体育館の建設目的の中で、災害時の対応と言っているが、釜や飲料水、毛布など災害時の備品も保管するのか？

A 備蓄関係のスペースは設けていない。平泉小学校の備蓄庫で保管する。

Q 内装業を営んでいるが、お客の中で、体育館が必要だという声を町民から聞いたことがない。

A スポーツ団体などから請願が出ているし、懇談会でも欲しいという意見が出ている。

Q 敬老会などのイベントには使用できるのか？

A 敬老会などのイベントについても、新体育館でできるようにしたい。学校施設では、

各行政区の参加状況

開催日	行政区	会場	参加人数(人)		
			男性	女性	合計
7月1日(月)	5区	下達谷公民館	17	7	24
7月2日(火)	18区	18区公民館	13	0	13
7月3日(水)	12区	12区公民館	12	8	20
7月9日(火)	19区	コミュニティセンター潤いの郷 悠悠	12	1	13
7月12日(金)	6区	上平泉公民館	16	4	20
7月16日(火)	7区	7区公民館	22	4	26
7月22日(月)	20区	20区コミュニティセンター	12	1	13
7月23日(火)	8区	大佐公民館	13	8	21
7月25日(木)	13区	13区公民館	14	6	20
7月29日(月)	21区	21区ふれあいセンター	15	5	20
21全行政区の参加者数			343	78	421

基本的に飲食は禁止となっているが、新体育館は学校施設ではないので飲食も可能になるほか、椅子とテーブルで行えるスペースを確保できる。

Q 体育館は28年度に完成、つまり建てる方向ということではないのか？

A ある団体から質問状が送られたことなどから、議会からも住民へ説明し意見をもらうべきという話もあり、今回このように説明をしているところ。合意形成を図りながら進

めていきたい。

Q 体育館建設スケジュールについて、大規模な建物なので発掘調査に時間がかかるのでは？

A スマートインターチェンジの関係で、県がこの地域を試掘しており、その段階で重要なものはないという報告がされている。ただ建設の際には、詳しく調査をする予定となっている。

県に支援を要望

県に対する要望が8月8日に行われました。町長、町議会議長らが県南広域振興局長に対し、7月下旬の大震災復旧に向けた財政支援などの緊急要望と「平泉の文化遺産」の保存管理や、放射線対策に対する適切な対応、「世界遺産平泉の日」制定など平成25年度要望を行いました。

【緊急要望】

▽大雨災害の復旧に向けた財政支援について
大雨災害の早期復旧に関し、小規模災害への財政支援措置を講じること。

▽地方交付税の適正な算定について
地方交付税の算定に当たって、国の政策に基づく一方的な削減は行わず、自治体の財政需要に見合った適正な算定に努めることなどを国に働きかけられること。

【平成25年度要望】

■教育・文化関係
▽「平泉の文化遺産」の世界遺産拡張登録について
▽「平泉の文化遺産」の保存管理について
▽柳之御所遺跡の史跡整備の促進について

▽史跡等の整備・活用に係る予算の拡充について
▽国立博物館の誘致及び平泉文化研究機関の早期設置について
▽特別支援教育体制の充実について
▽外国語指導助手の配置について

■道路・河川関係

▽「(仮称)平泉スマートインターチェンジ」の計画促進について
▽主要地方道一関北上線及び一般県道相川平泉線道路改良事業について
▽「(仮称)栗原北上線(西ルート)」の県道認定及び整備について
▽一関遊水地事業に伴う内水被害対策について
▽主要地方道平泉蔽美溪線の歩行者、自転車道路の整備につ

いて
▽県道の環境保全について

■放射線関係

▽牧草及びシイタケ等農産物の放射性物質被害に伴う対策について
▽放射線対策に関する適切な対応について

■地域振興関係

▽企業誘致活動について
▽国際リニアコライダー(IRC)の東北誘致について
▽「世界遺産平泉の日」の制定について



要望書を手渡す菅原町長

自動車の新たな地域名表示ナンバープレートに「平泉」ナンバーの導入を決定！

国土交通省は8月2日、自動車の新たな地域名表示ナンバープレート(ご当地ナンバー)となる「平泉」ナンバーの導入を決定し発表しました。

「平泉」ナンバーの実現に向けて町では、一関市・奥州市・金ケ崎町・平泉町の商工団体、観光団体、行政の19団体で構成する「平泉ナンバーを実現させる会」(会長・宇部貞宏一関商工会議所会頭)の一員として、署名活動やアンケート調査などの活動を展開してきました。

また、「平泉」ナンバーの導入に先駆けて原付きバイクなどのオリジナルナンバープレート交付の取り組みを進めてきました。

同会は、7月26日に東京都内で開催された「ご当地ナンバー(第2弾)審査会」で、地域住民の



7月26日、「ご当地ナンバー審査会」の様子

機運の高まりと熱意を伝えたほか、「平泉」ナンバーの位置づけや活用方策についてプレゼンテーションを行いました。

導入開始は、平成26年度中になる見込みです。